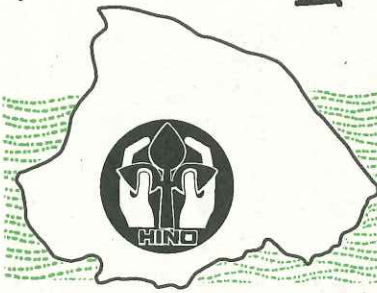


会報



緑のまち

ガーデニング コンテスト

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740

URL <http://www.hinoryokka.org/>



日野市長賞
〈内山宅庭〉

わが庭に

心をこめた

花づくり!!



今年こそ
みごとにひらけ
思い花!!



平成22年度 上半期事業報告



第6回 ガーデニングコンテスト

今年もたくさんの応募をいただき、ガーデニングコンテストを開催しました。受賞者は右記のとおりです。

6月6日(日)日野市民ふれあい福祉まつりの中で表彰式を行い、6月7日～6月18日までの期間、日野市役所1階市民ホールで写真展を行いました。

開催時期が5月のためローズガーデンが多く、今後は秋の時期にもコンテストを開催し、一年をとおして多くの皆さんに参加していただきたいと考えています。

こうした取り組みをとおし、ゆくゆくは入選者宅のお庭見学コースを作り、市内の名所めぐりと組み合わせた散策コースとして、皆さまに日野市の素晴らしさと、庭作りの大切さを、実感していただきたいと考え、計画しております。

是非、来年も多くの方々のご参加を職員一同お待ちしております。

表彰者一覧表 (敬称略)

賞	氏名
日野市長賞	内山市 繪巳
日野市議会議長賞	宮原 敏子
日野市環境緑化協会理事賞	堀口 孝秋
審査員特別賞 秘密の花園賞	後藤 美恵子
審査員特別賞 フラワーガーデン賞	黒田 ミツ子
審査員特別賞 手作りガーデン賞	遠藤 静
審査員特別賞 マイガーデン賞	瀬沼 當子

子ども昆虫教室

平成22年7月24日(土) 開催

講師：森川正昭氏(日野の自然を守る会)・高橋秀男氏(日本昆虫学会)

於：都立七生公園 参加者：20名

*昆虫が大変少なくなっていますので、観察場所の変更を考えています。



平成22年度 下半期事業計画

稲わら竹細工講習会

平成22年12月2日(木) 開催

稲わらと竹を使用した身近な工作を楽しんでみませんか？

今後の
講習会予定

春の草花管理講習会

平成23年2月9日(水) 開催予定

春の草花の育て方や管理方法などの基礎や知識を学びます。講師の先生の草花の育て方等の裏ワザ、コツ等のお話しも聞き逃せませんよ！ *詳しくは「広報ひの」1月15日号をご覧ください。

ガーデニング講習会

平成23年3月16日(水) 開催予定

「うちの庭(ベランダ)何とかしたい」と思ってる方、この機会にガーデニングの方法を学んでみませんか？ 楽しく、ためになる初心者のためのガーデニング方法を学びます。

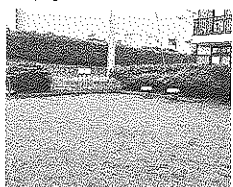
*詳しくは「広報ひの」3月1日号をご覧ください。

職員一同、皆さまのご参加をお待ちしています

●日野市の公園(【北部】多摩平・日野台・日野本町・川辺堀之内等)

日野台一丁目公園 (日野台)

小さな花壇がある公園です。



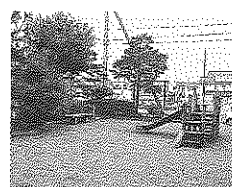
大六天公園 (多摩平)

ベンチがひとつあるだけの小さな公園です。



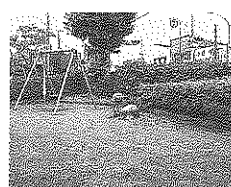
栄町公園 (栄町)

すべり台がある公園。子どもたちがよく遊んでいます。



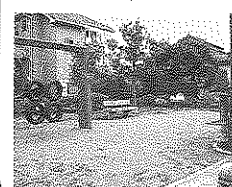
川久保公園 (日野)

旧甲州街道沿いにあり、ホッと一息つける公園です。



村前公園 (大字上田)

住宅地の中にある小さな公園です。



平成21年度決算額及び平成22年度予算額

《収入の部比較一覧表》

科 目	平成21年度 決算額 (円)	平成22年度 予算額 (円)
基本財産運用収入	1,179,999	623,000
事業収入	1,167,300	800,000
補助金等収入	41,273,855	29,300,000
寄付金収入	1,175,934	1,001,000
雑収入	3,943	2,000
前期繰越(収支差額)	5,219,253	(1,500,000)
収入合計	50,020,284	33,226,000

《支出の部比較一覧表》

科 目	平成21年度 決算額 (円)	平成22年度 予算額 (円)
普及啓発費	2,568,837	1,816,000
事業活動費	13,386,660	8,671,000
調査研究費	0	1,000
受託事業費	16,766,186	8,624,000
管理費	12,859,585	14,014,000
予備費	0	100,000
支出合計	45,581,268	33,226,000
次期繰越	4,439,016	

第8回「スプリングフェスタひの」& 日野市環境フェア

今年の3月27日(土)・28日(日)の2日間開催いたしました「スプリングフェスタひの」では、初めて日野市環境フェアとの同時開催となり例年よりもたくさんの皆さんに楽しんでいただくことができました。

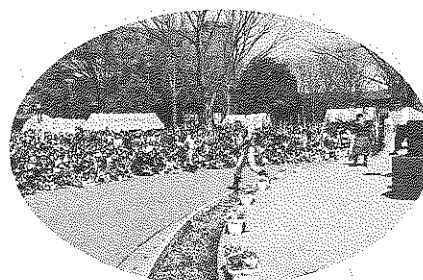


スプリングフェスタひのとしては、市内の中学校吹奏楽部の演奏によって一日目がスタートして、ハーモニカ演奏、ベリーダンス、フォークダンス、カラオケ大会を開催しました。

また、二日目はハワイアンバンドの演奏によりスタートし、市内の中学校吹奏楽部の演奏、日野太鼓、プロ歌手の歌謡ショー、民謡、よさこい鳴子踊りと催し物が盛りだくさんでした。

芝生の広場では、多くの模擬店が出店され、食事をするなど皆さんに楽しんでいただきました。

日野市環境フェアとしては、一日目に新キャラクターのエコマ・エコアラの着ぐるみをお披露目するための式典やゴセイジャーの戦隊ショーなどで子供さんの来場も多く大変盛況でした。



● 日野市の公園 (【南部】南平・程久保・三沢・百草等)

かくれ穴公園
(程久保)
動物のオブジェがひと
きわ目を引く公園です。

御山の松公園 (南平)
「おっさんのまつ公園」
と読みます。住宅地の中
の公園です。

苗間公園
(南平)
住宅街の中にある、静
かな公園です。

南平大坂公園 (南平)
北野街道に面した公園
です。癒しのスポット
です。

河内公園
(百草)
素敵な竣工記念碑のあ
る公園です。

秋の 緑化月間

菊花展

市の花「菊薫る秋」、今年も夏に配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって育てられ、皆様の目を楽しませてくれました。また、市で育てた大菊・だるまなども多種にわたり展示しました。

◆ 配布苗菊花コンテスト ◆

期間：平成22年10月27日(水)～11月4日(木)

8月21日市民配布、8月24日老人クラブ配布、9月2日小学校に配布を行い、それぞれが丹精込めてきれいに咲かせた作品を市民一般の部・小学校の部・老人クラブの部に分けコンテストを実施し、それぞれの部門ごとに展示しました。



◆ 表彰式 ◆

平成22年11月4日(木)

午後3時30分～

市民プラザ(市庁舎前)

コンテスト参加作品のなかから、日野市長賞・緑化協会理事長賞等34点を表彰しました。

◆ 古典菊・大菊の展示 ◆

大菊や古典菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊などを展示しました。

◆ 菊友会菊花展 ◆

福助・盆養・切り花などを展示しました。

平成22年 配布苗菊花コンテスト表彰者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	天野 正次	芹沢美栄子		久和の美会	悠悠クラブ	第二小学校
日野市議会議長賞	進藤竹三郎	菊地 邦雄		悠悠クラブ	川北クラブ	第四小学校
日野市教育委員会委員長賞						東光寺小学校
財団法人日野市環境緑化協会理事長賞	天野 聡	山本 寛	高橋 ゆり	川北クラブ		潤徳小学校
日野市老人クラブ連合会長賞				四谷永寿会		
日野市菊友会長賞	杉山 幹雄	増澤 愛				
東京南農業協同組合組合長賞	山本 寛	富沢 栄子		中部長生会		
入選(市長)	富沢 栄子	天野 聡		程久保長生会	程久保長生会	仲田小学校
	山本 正子	天野 正次				
入選(理事長)	増澤 愛	小林 通昭		美好会		旭が丘小学校
	小林 通昭					

緑の写真展

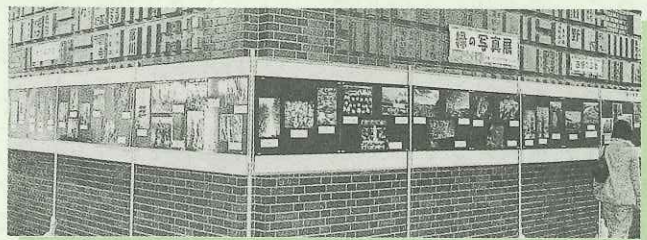
期間：12月20日(月)～12月27日(月)

場所：市役所1階市民ホール

テーマ1 「日野の四季」

テーマ2 「わが家の緑」

今年も市民の皆様様の応募作品が展示されます。ぜひ、ご覧ください。



● 日野市の公園 (【西部】平山・東平山・西平山・旭が丘等)

大名淵公園 (東平山)

園内から浅川が見える公園です。



おくやま公園 (平山)

広々として森林浴が楽しめる公園です。



平山東公園 (平山)

防災用井戸から水が湧き出る公園です。



やと公園 (平山)

公園の中央にはコンクリートの山があります。



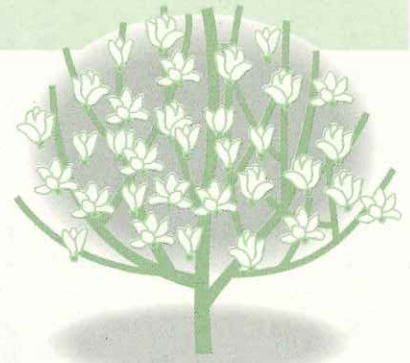
南平公園 (南平)

遊具がたくさんあり、用水が流れる大きな公園です。



庭木の管理

- ① 育成管理 …… 苗木 ⇒ 成木
- ② 保守管理 …… 庭園樹
- ③ 保護管理 …… 老木・風害対策・病虫害駆除予防等



〈作業手順〉

1. について …… 施肥・除草・移植・整枝・剪定・縄引・添木整姿
2. について …… 刈込・剪定整姿・施肥・除草・消毒防除等
3. について …… 添木・老木支柱・枝巻・給水・施肥・消毒

今回は …… 刈込について

(目的)

生垣・大刈込・個体樹木(人口形整姿)の三様があり、作庭時の石組との調和及び明るさ、広さを表現させそれを維持する。

*作業の手順と留意事項

1. 庭全体のバランスを必ず考える。またどの程度に仕上げるかを決める。
2. 一気に刈り込まないこと。(予定線……刈地より低く刈り込まないように注意)
3. 大きく(長く)伸びた新枝(徒長枝等)を先に切りとり、もとの形を確認。
4. 部分仕上げはしない。
5. 仕上刈をする前に作業状況の確認の為、現場を見渡せる位置にさがり作業の状況を確認する。
6. 仕上刈りのハサミの使い方は早く細かく一定の速度で動かし、仕上げる目的の形を頭の中に描きながらの連続動作とし拾い刈りをしない事。
7. 稜線(目の行くところ)に特に注意する。
8. 刈込鉋は基本的には左手でしっかり握り固定し右手は軽く握って反復運動を繰り返す気持ちで刈込む。
9. 刈込鉋は「うら・おもて」状況に応じて自由に使い分ける。特に丸型の刈込の場合は裏返しに使用する場合が多い。

(仕上刈で特に注意する位置) …… 稜線(視線の行くところ)を特に注意する。

コスモスアベニュー

今年も豊田南区画整理地区内でコスモスを楽しみました。

来年からは万願寺にある浅川スポーツ公園の外周を利用して行う予定です。



緑化協会の腐葉土の作り方

1. 公園の落ち葉を集めて1年間積み置く。
2. 2年目は米糠を混ぜて発酵を促し、場所を変えて積み置く。
3. 3年目は耕運機で粉碎後、不燃物、小石、枝等を選別し、ふるいに掛けて大きさを均一にする。半年程積み置いて完成となる。

緑化協会では、上記のように作った腐葉土を販売しています。詳しくは8頁をご覧ください。

作文集「緑のまち」

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に二、〇四八名の児童から応募がありました。学年別では四年生・七六六名、五年生・一、一八五名、六年生・一、〇九七名でした。この中から、七名の審査委員の審査により入選作二二三編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三作品と、審査をいただきました審査委員長の講評を掲載します。

なお、入選作二二三編とカット六五作品については、別に作文集として発行します。

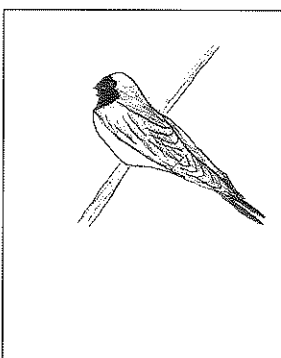
ツバメの来る町 白野

潤徳小学校

四年 千葉大輝

今年も、ツバメが来ました。毎年、ぼくの住むマンションにやって来ます。でも、来なかった年があります。それは二年前の事です。なぜかという、マンションの大規模修繕でマンション全体をきれいにする工事をしていたからです。マンションの駐車場と駐輪場にツバメが巣を作っていたのですが、その両方の天井を貼りつけてしまい、ツバメが巣を作れなくなってしまいました。ツバメが来るのを

楽しみにしている一方、ふんに困っている人達がいたからです。天井はきれいになったけど、ツバメは来なくなりました。「来年は来るかな。来ないかもしれない。」と思いながら一年がすぎました。ある日、学校から帰っていると、けんめいに巣作りしている親ツバメを発見しました。「やったあ。ツバメが帰ってきた。」とうれしくなりました。ツバメはちゃんと帰ってきてくれました。天井ではないはい水管の上の上手に巣を作っていました。



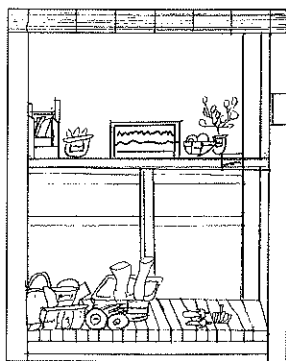
「本当にもどってきてくれてよかった。」
ぼくは心から思いました。
日野市には、「ツバメのくる町シール」というものがある。ツバメがたくさん来ます。ツバメが巣作りするため土や水、草などやエサとなる昆虫がたくさんいるからだと思います。
ツバメにとって住みやすい町は人間にとっても住みやすい町だと思います。ぼくたちは、空気や水がきれいな豊かな自然の中で健康的に生活することができています。
いつまでもツバメが来るよう、ぼくたちも、元気にくらせるよう、自然を大切にします。
八月上旬、今年も五羽が元気に巣立っていきました。「来年も日野に帰って来てくれるかな。」
いつもぼくは考えながら自転車を置いていきます。

倉沢の農園と大切な緑

七生緑小学校

五年 齋藤和寛

夏休みの宿題で「ふるさとフードマイレージ」を調べることになりました。「フードマイレージ」とは、食べ物や運ばれてきた距離だそうです。ぼくは、倉沢の農家をたずねてみました。石坂ファームハウスさんの庭先販売所に行ってみました。かぼちゃ、なす、パジル、青じそ、ミョウガ、メロン、メークイン、オクラなどの夏の野菜がたくさん並んでいました。これらを作った石坂さんに話を聞くことができました。牛乳や肉以外はお茶も自分で作っているそうです。石坂さんの暮らしは、「フードマイレージが少なく、エコだな。」と思いました。ぼくも、そこでかぼちゃとなすとメロンを買いました。調理方法も教えてもらいました。野菜のおいしさをそのままいただくために、オーブンで八分から十分焼く。味つけは塩だけ。家で作ってみた所、いつもとはちがうような気がしました。でも、意外とおいしかったです。
別の日、倉沢の「雑木林」の奥のブルーベリー農園にも行ってみました。途中には、畑が広がっていました。トンボやセミやチョウがいました。暑い日だったけど、畑はずっと涼しい風がふいていました。コンクリートやアスファルトの所とは大ちがいだなと思いました。植物には夏の暑さをふせいでくれる働きもあることを知りました。
宿題をやってみて、エコな暮らしをしている人に会うことができました。緑の畑がぼくたちにすずしさを届けてくれることに気づきました。今は、農業をする人が減って畑も少なくなってしまうかもしれません。ぼくたちにとって大切な緑を守るためにも、畑を増やしていけたらいいなと思いました。お父さんの友達が畑を借りて野菜づくりを楽しんでいるそうです。ぼくも、いつかやりたいです。



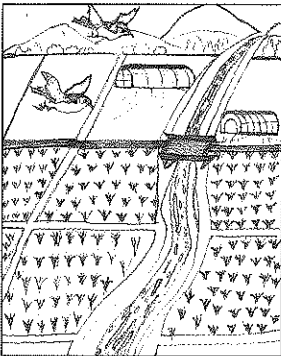
未来に伝えたい緑と水

東光寺小学校

六年 松本理彩

私は、日野用水のせせらぎの音や一面に広がる田園風景、風になびいて青々としげる稲の香りが大好きです。この自然環境を守るために、今私達に何が出来るか考えてみました。

昨年、農家の人に教わりながら、約一年かけて米作りの体験学習をしました。用水の水の恩恵を受けて、稲はすくすくと生長していきます。田植えから脱穀までは機械化されていて、重労働で、農家の人々が常に天候や水の管理に気をつかい、大変苦労されていることを実感しました。だから、自分達で育てた米を食べたときの収穫の喜びは非常に大きなものでした。私は、この貴重な経験から食べ物を大切にしようという自然に対する感謝の気持ちをもつことが出来ました。用水は、見た目にも水質検査の結果からも透明度が高くきれいですが、空き缶やびん・ごみくずなどが川底に捨てられているのを発見すると心が痛みます。でも、いつの間にかごみがなく



なっているのが不思議に思っていました。調べ学習の過程で、清掃活動を行っている「用水守」という方々の存在を知り、私もこうしたボランティア活動に参加することで恩返しをしたいと思います。そして、小学生だけでなく一般の人向けにも田畑で作物を耕すイベントを市で企画するなど、大地の恵みを肌で感じる機会があれば環境に対する理解や関心が深まるのではないかと考えました。まずは、現状を知ってもらうことです。また、地元で採れた野菜を給食で利用する「地産地消」という方法も、日本の低い食料自給率の向上につながるように今後も続けていくべきです。田畑をうまく利用しながら、なるべくあるがままの姿で環境としての役割を後世に残していきたいものです。数十年、数百年後も緑と水で囲まれたのどかな風景を未来の人々にも見てもらいたいです。

自然を慈しむ心は、

自然にふれあうことから

審査委員長

日野市立東光寺小学校長 垣内成剛

今年も「緑のまち」の作文集の応募に応えて、児童の皆さんが、約三千を超える作文を寄せて下さいました。改めて心より「緑のまち」の作文を書いてくださった児童の皆さん、保護者の皆さん、作文を指導したり、まとめていただいた先生方に心より感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

さて、作文を審査する中でいくつか気づいたことをお話しします。良いと思う作文には、共通して、日野市の身近にある自然を愛する気持ちが素直に書かれています。緑の自然とは、黒川公園や多摩平の森、七生丘陵や白草自然園、よそう森公園や旭が丘小学校の学校林、近くの公園などです。川の自然とは、多摩川や浅川、湧水やわんどや日野用水、近くの池などです。身近にある自然に何度も足を運ぶ

最後に日野の自然を愛したストーン牧師のことを紹介します。多摩平に「ストーンの森」があります。カナダ生まれのストーン牧師は、カナダのふるさととよく似た美しい森である多摩平の森に出会って、すぐく気に入りました。そこに教会を建てて、暮らしていました。ストーン牧師は、

ことで、気づくことがたくさんあります。自然の中に生きている木や草や花、昆虫や鳥や動物、魚や両生類や水生植物などの生きものにふれあうことで、大切なことを学びます。例えば、生きものにとって、生活しやすい環境は、人間にとって住みやすい環境です。生きもの人間が共に暮らせること、共生できる世の中にするのが大切です。次に、良い作文には、行動したことや調べたことが書いてあります。例えば、木や花を植えて育てたり、清掃活動に参加したり、川や林で学習する体験教室に参加したこと等を丁寧に書いています。さらに興味を持ち、図書館や身近な人に聞いたたり、インターネットで調べたことが、書いてあります。ぜひ、身近な自然に興味を持ち、自然とふれあうことから始めて下さい。

緑の募金中間報告

今年も例年通り4月・5月を推進月間として取り組んでまいりました。景気低迷が続く中、自治会・老人クラブ・各事業所をはじめ、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、今年もたくさんの募金を集めることが出来ました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に活用されます。また一部は当協会にも還元され、市内の公共施設や花壇などへの花卉植付けに役立たせていただきます。

●募金総額 1,847,260円
(平成22年8月末日までの合計)

<内訳>

自治会	921,453円
老人クラブ	124,283円
市立小・中学校	10,170円
私立幼稚園・私立保育園	44,080円
団体・事業所	516,468円
一般・街頭募金	131,002円
市役所機関	99,804円

腐葉土・肥料を販売しています

腐葉土 …… 公園の落葉を利用し、約2年間かけて作ります。
44ℓ → 800円、20ℓ → 400円、4ℓ → 100円

乾燥肥料 …… 油粕・魚粉・米ぬかを材料に発酵させて作ります。地球にやさしい有機肥料です。(緩効性)
約400g → 100円

固形肥料 …… 化成肥料を小分けにしています。
約160g → 30円

窒素：リン酸：カリ が 5：5：5 で配合されています。

寄 付

緑化協会では全国規模で行われる「緑の募金」とは別に、年間を通じて寄付の受け付けをしています。いただいた寄付金は、日野市内の緑化推進のために役立てています。

<平成21年度寄付金> (11月以降)

高幡台寿会様 1,974円

<平成22年度寄付金> (10月末日現在)

匿名男性様 4,850円

この他にも緑化協会事務所内の募金箱にたくさんのご好意が寄せられています。ありがとうございます。

緑化協会及び講習会場案内図



花の交流ひろば



緑化協会では、市民のみならずから提供された種子をいつでもお持ち帰り頂けるよう、事務所内に常時スペースを設けています。お気軽にお立ち寄り下さい。

募集

花や野菜の種子を随時募集しています。ご協力をお願いします。

編集後記

協会の目的、そのひとつには緑化推進に関する啓発普及があります。その関連としては、14にも及ぶ事業展開を行っております。

中でも、桜に関することや菊花コンテスト、ガーデニングコンテスト、作文集、会報発刊など広範囲に取り組んでいます。

[S・O]